

森林

の

ささやき

会員ジャーナル第16号



NPO法人
北海道に森を創る会

2022年1月 発行



第44回
全国育樹祭 北海道
2021
つなごう未来へ この木 この森 この緑

特集

設立15周年にあたって

秋篠宮ご夫妻がリモートでご出席の中、本会(NPO法人北海道に森を創る会)の感謝状授与などが執り行われた第44回全国育樹祭式典会場

特集

設立15周年にあたって

2006年1月に設立認証されて15年周年を特集にしました。改めて、当会の原点、経緯、現状などの概略を紹介します。

私たちの原点

子孫からの借物である森を育み
緑も人の心も豊かな北の大地にしよう

森林トラスト運動

荒れた山林などの取得

環境保全、地域振興

森づくり(再生と育成)

生活環境の保全

大気中のCO2吸収による温暖化防止
気温変化の緩和と適度な湿度や酸素の供給

山地災害の防止

土壌の浸食や流失、土砂の崩壊防止

水源の滋養

土雨水の地中吸収や流れの緩和による豊富な栄養を含む安定した水源の供給

保養や休養

人間や野生動物への快適な環境と精神的なやすらぎの供給

* 通常総会の会場で、本会の歩みやコンセプト、皆様の活動風景などを収録した映像を放映する予定です。

私たちの進めること

森林再生事業

木材、木製品の
需要拡大

森林を活用した
コミュニティー事業

記念の森事業
(記念樹、樹木墓地)

森林を活用した
環境教育事業

森林の再生、育成

- ◇ 未来の森・函館
- ◇ 茨木記念の森
月形、八雲、ニセコ、壮瞥
- ◇ 元気の森・えりも
濱田記念の森・砂川
- ◇ ドロ亀さん記念
当別22世紀の森づくりに参加

地域コミュニティー

- ◇ 未来の森・函館
- ◇ 茨木記念の森・月形
- ◇ 令和記念の森・八雲

記念の森づくり

- ◇ 未来の森・函館
- ◇ 令和記念の森・八雲

木材、木製品の供給

- ◇ 茨木記念の森・月形

15年経過

私たちの主な成果

未来の森・函館
2006年 5haの土地を借用



ゴミ捨て場に森づくり

茨木記念の森・月形
2005年 20haの山林を取得



荒れた山林地を再生



2021年秋 育樹祭を終えて



2021年秋 間伐が完了

◇ 北海道植樹の日、育樹の日の条例制定に深く関わり、実現に漕ぎ着けた

◇ 森づくりの推進などが評価され、北海道知事から感謝状授与



令和3年度の活動報告

(1) 未来の森・函館

* 春の行事(5月21日、15名参加)

函館支部が主体となり、渡島総合振興局や函館サンモリッツくらぶなど地元の皆様と協働で獣害防止材の取外し作業などを行い、故濱出副理事長を偲んでナナカマドを植樹して樹木プレートを取付けた。



集合写真



野鼠防止材取外し



故濱出副理事長の記念植樹と樹木プレート

* 秋の行事(10月15日、15名参加)

春の行事と同様、函館支部が主体となり、地元の皆様と協働で獣害防止材の取り付け、支柱の設置、下枝払い作業などを行った。



獣害防止材の装着作業



支柱の設置作業



15年間の取組みにより素晴らしい森が復活

(2) 茨木記念の森・月形

* 間伐事業(期間:7月14日~10月30日)

トドマツ人工林(39年生)の間伐(1伐3残)作業を実施し、間伐材は有効に利用(販売)した。



7月14日



7月29日



8月24日



9月10日



9月13日

(3) 第44回全国育樹祭に参加

10月10日に北海道立総合体育センター(通称:北海きたえーる)で開催された式典に石子理事長が出席され、北海道緑化等の功労者として本会に感謝状授与された。

詳細は次ページをご覧ください。



令和4年度の主な予定

今年の主な行事予定を紹介します。
詳細が決まり次第、別途ご案内申し上げます。

(1) 令和4年度通常総会

* 石子理事長が講演した「森林再生と地域振興の道」を放映予定

(2) 未来の森・函館

①春の行事

②秋の行事

(3) 令和記念の森・八雲

(4) 大滝樹木葬の検討

今後の展望

(1) 森づくりの取り組み

①森林トラストによる森づくりの推進

未来の森・函館、茨木記念の森・月形
令和記念の森・八雲

②森林トラストで取得した森づくりの検討

濱田の森・砂川、茨木の森・ニセコ、壮瞥

(2) 森林・樹木葬モデルの確保と支援



トピックス

本会が北海道緑化等の感謝状授与

“つなごう未来へ この木 この森 この緑”をテーマに、北海道では34年ぶりとなる第44回全国育樹祭の式典が、10月10日に札幌市豊平区の北海きたえーるで開催された。

この式典の開会にあたり、全国育樹祭大会会長の山東昭子参議院議長、鈴木直道北海道知事らの挨拶に続き、秋篠宮殿下ご夫妻からリモートによるおことばを賜わり、華やかな雰囲気にも包まれた。

そして、本会(NPO法人北海道に森を創る会)の森づくり推進の貢献などが評価され、北海道緑化等の功労者として鈴木知事から石子理事長に感謝状が贈られた。



知事感謝状贈呈式で表彰された石子理事長

齋藤サダ理事が「緑化功労賞」を受賞

「次の世代に遺し、渡すものを大切にしたい」

当会の齋藤サダ理事が、東北・北海道地区緑化推進協議会の緑化功労者に選ばれた折に朝日新聞のインタビューに答えたもので、正に本誌の特集で取り上げた本会の原点を地で行くものです。

本功労賞は、同協議会が毎年北海道から2名選ばれるもので、昨年の北海道社会貢献賞(森を守り緑に親しむ功労者)に続く栄誉となります。

これまでもドボジョ(土木系の仕事に従事する女性の意)の先駆者として、本会の森づくりにも率先して取り組んでおられます。

改めて深く敬意を表します。



緑化功労賞の表彰を受ける齋藤サダ理事

◆お知らせ◆

- ①事務局の勤務時間は、毎週火曜日と金曜日の10時から16時です。
不在時は、以下までご連絡ください。
携帯電話 090-1385-5946
Eメール moriotukuru@nifty.com
- ②事務所が2月に林務会館へ移転する予定です。
詳細が決まり次第、別途ご案内申し上げます。



NPO法人
北海道に森を創る会

札幌市中央区南8条西2丁目5-74

(市民活動プラザ星園 405号)

ホームページ <http://www.moriotukuri.org/>



西クマネシリ岳(1635m)とピリバツ岳(1602m)
<愛称:おっぱい山> 上土幌町提供

編集後記

新型コロナ対策でソーシャルディスタンスが叫ばれ、“適切な距離感”が重要視されました。

しかし、人類の振る舞いが自然との“適切な距離感”を壊し、地球温暖化や絶滅危惧種などの深刻な社会問題を引き起こしております。

そこで、本号では本会の設立15年を契機に、自然と人類の“適切な距離感”を保つ役割を担う樹木の有難さを改めて取り上げました。

全国育樹祭時の挨拶でも、森づくりの大切さを多くの方が異口同音に訴えており、本会の15年間の歩みと実践は、SDGs(持続可能な開発目標)の観点からも一層意義深く感じられました。

本誌は「子孫からの借り物の森を育む」を合言葉に、穏やかな日常の拡がりを目指しています。

さて、今年のプロ野球は、ビッグボスの登場などで何かとファイターズが注目されています。久しぶりの躍進を楽しみにしているのは、筆者だけではないと思います。

そして、心置きなくファイターズの躍動などの楽しみを堪能するためにも、人類の英知を結集して“適切な距離感”を保ち、一刻も早く穏かな日常の訪れを願うばかりです。

<発行>NPO法人北海道に森を創る会事務局

編集担当 岡田隆範